

Web 開催

令和2年度 岩手大学公開講座

地域政策入門

— 新たな地域力を探る —

主催: 岩手大学人文社会科学部

後援: 岩手県教育委員会 盛岡市教育委員会

岩手大学人文社会科学部地域政策課程では、法・経済・環境の総合的視点から持続可能な社会づくりの諸課題に取り組み、地域社会に貢献できる人材の養成を目的として教育研究を行っております。そこで今回の公開講座では、高校生・一般市民を対象として、「地域政策」を焦点とする本課程の教育研究の内容を紹介するとともに、地域社会に関わる課題について、法学・経済学・環境学等の分野から話題を提供いたします。

日 時 令和2年12月19日(土) 13:30~16:20

対 象 者 高校生(主対象)、市民一般 500名

受 講 料 無 料

講義形式 Webでの講義(WebExを使用)

※講義内容の詳細は裏面をご確認ください

申込方法 参加ご希望の方は、QRにアクセスし申込フォームにご記入いただくか、お電話またはメールにて下記の必要事項をお知らせください。

〈お申込先〉 岩手大学 研究・地域連携部 地域連携推進課

電話:019-621-6492 E-mail:pedagogy@iwate-u.ac.jp

※メールでお申し込みの際は件名に「公開講座(地域政策入門)申込み」とご記入下さい。

※受付後に上記アドレスよりご連絡差し上げますので、必ず受信できるよう設定をお願いします。

申込締切 12月7日(月)



-----「R2年度 地域政策入門」申込書-----

ふりがな		学校名	
氏 名		または職名	(年生)
住 所	〒		
電話番号		E-mail	

<講義内容>

13:30~13:35	はじめにー開講にあたってー 寺崎 正紀(地域政策課程長)
13:35~14:15	レファレンダムと民主主義 講師:本庄 未佳 (憲法・准教授)
<p>この講座では、レファレンダムについてお話しします。私たちは主権者として日本の政治にどのように関わっていくことができるのでしょうか。日本国憲法は間接民主制を採用していることから、選挙を通じて全国民の代表となるような国会議員を選出しています。しかしながら、日本国憲法には、国会議員に任せておけないような憲法に関わる問題や地域の問題について、私たちが直接、投票をして意思決定をしていくシステムも保障されています。それが、直接民主制を実現するレファレンダムという制度です。スコットランドやドイツを事例に挙げながら、日本でのレファレンダムがどのように実施されてきたのか、そして、私たちはどのようにレファレンダムと向き合っていくべきなのかについて一緒に考えていきましょう。</p>	
14:20~15:00	「地域再生の経済学」 講師:佐藤 一光 (財政学・准教授)
<p>この講座では、地域の雇用がどのように作られているのかについてお話しします。現代社会では、私たちは働いてお金を稼がなければ生きていけません。多くの方は、なるべくやりたい仕事や給料の高い仕事につきたいと思うでしょうが、地域によっては良質な雇用は限られています。工場があって、その周りに賑やかな商店街があるという時代は過ぎ去りました。生産性が向上して地域の雇用が失われる時代に私たちは生きています。「知識社会」と呼ばれるこのような経済体制では、どうすれば地域に良質な雇用を作ることができるのでしょうか。どこの地域でも実は医療や介護、福祉の従事者が多いことが知られています。実際のデータを眺め、経済学を応用して、地域再生の道筋について考えてみましょう。</p>	
15:00~15:10	休憩
15:10~15:50	文化的景観という地域の潜在力をめぐる 講師:竹原 明秀 (景観生態学・教授)
<p>岩手県のイメージコピー「黄金の國、いわて。」は、岩手全体の豊かさと信頼を表現したもので、マルコ・ポーロや西行法師、松尾芭蕉が憧れた理想郷を表しています(県 HP)。その理想郷はまた、宮沢賢治の心象世界「イーハトーブ」に繋がっています。まさに歴史の中に存在した空間が現在でもイメージとして生きていることを指しています。果たして、それらはどのような形(地域力)で存在しているのでしょうか。しかし、往々にして私たちは地域力に気づかないものです。普段、見ている景色の中に地域力が潜在している可能性があります。ここでは、文化的景観、世界遺産、日本遺産、重要伝統的建造物群、史跡文化財、遠野物語、屋敷林などをキーワードに岩手県の潜在力をめぐります。</p>	
15:50~16:20	質疑応答・討論

※Web 講義の受講方法については、後日受講者にメールでお知らせします。

携帯電話のメールアドレスで申し込まれる場合は pedagogy@iwate-u.ac.jp からのメールが受信できるよう予め設定をお願いいたします。